

# 経営発達支援計画事業実施報告書

1. 評価委員会開催日時 令和5年5月2日(火) 13時25分～14時31分
2. 評価委員会開催場所 久万高原町産業文化会館 研修室
3. 評価委員 9人 (委員長1人、副委員長1人、委員7人)
4. 承認 本会理事会承認 令和5年5月10日(水)
5. 実施結果・評価

## (1) 評価の基準

- A 目標を十分達成している (100%以上)
- B 目標を概ね達成している (80～99%)
- C 目標を半分程度しか達成できていない、どちらかというとな達成できていない (30～79%)
- D 目標を全く達成できていない (30%未満)

## (2) 評価

分類	事業内容	実施項目	年度目標	実施結果	実施項目評価	事業項目評価
経営発達支援事業の内容	1. 地域の経済動向調査に関する事 【指針③】	商工業者景気動向調査	2	1	C	B 平均 83%
		HPによる広報	2	1	C	
		チラシによる広報	2	1	C	
		金融機関と連携した景気動向調査	1	1	A	
		HPによる広報	1	1	A	
		チラシによる広報	1	1	A	
		中小企業白書等の分析による景気動向調査	1	1	A	
		HPによる広報	1	1	A	
	チラシによる広報	1	1	A		
	2. 経営状況の分析に関する事 【指針①】	経営分析事業者数	12	26	A	A
3. 事業計画策定支援に関する事 【指針②】	事業計画策定件数	4	14	A	C 平均 37.5%	
	創業希望者事業策定	2	0	D		
	第二創業計画策定	2	0	D		
	事業承継計画策定	2	1	C		
4. 事業計画策定後の実施支援に関する事 【指針②】	フォローアップ対象事業者数	10	8	B	C 平均 46%	
	既存事業者に対する支援 (1事業者3回、4ヶ月毎)	12	90	A		
	創業者に対する支援 (1事業7回)	14	0	D		
	第二創業者に対する支援 (1事業7回)	14	0	D		
	事業承継先に対する支援 (1事業者3回、4ヶ月毎)	6	3	C		
5. 需要動向調査に関する事 【指針③】	特産品の需要動向調査事業所数	4	0	D	D	
	アンケート回収数	120	0	D		
	調査結果の情報提供事業者数	4	0	D		
	テストマーケティング調査事業所数	2	0	D		
	アンケート回収数	60	0	D		
	調査結果の情報提供事業者数	2	0	D		
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事 【指針④】	セミナーの開催	1	0	D	D	
	セミナー参加者数	5	0	D		
	すご味への登録	1	0	D		
	すごものへの登録	1	0	D		
	商談会への参加	2	0	D		
	上記売り上げ目標	1社 前期比約10%増	0	D		
	松山圏域中小企業販路開拓市展示会出展指導社数	4	0	D		
	松山圏域中小企業販路開拓市展示会・商談会への参加	2	0	D		
	松山圏域中小企業販路開拓市商談件数	2	0	D		
	松山圏域中小企業販路開拓市成約件数	1	0	D		

		上記売り上げ目標	1社 前期比約10%増	0	D	
		SNS利用社数	5	0	D	
		上記売り上げ目標	1社 前期比約10%増	0	D	
地域 経済 の活 性化 に資 する 取組	7. 地域 経済の活性化 に資する取 組	農業振興「6次産業化、付加価値の向上」	—	0	D	D
		林業振興「雇用環境の整備」	—	0	D	
		商工業環境の整備「ICT環境整備」	—	0	D	
		「道の駅 天空の郷さんさん」を起点とした観光振興	—	0	D	
経営 発達 支援 事業 の円 滑な 実施 に向 けた 支援 力向 上の ため の取 組み	8. 他の支 援機関との 連携を通じ た支援ノウ ハウ等の情 報交換に関 すること	他の商工会	4~5	2	C	C 平均 57.5%
		株式会社日本政策金融公庫	1以上	19	A	
		他の公的支援機関等 ・愛媛県商工会連合会 ・中小企業基盤整備機構 ・えひめ産業振興財団 ・愛媛県よろず支援拠点 ・事業引継ぎ支援センター	随時	3	B	
		予土隣接商工会交流会	1	0	D	
	9. 経営指 導員等の資 質向上等に 関すること	0JTの実施	—	6	A	C 平均 75%
		OFF-JTの実施	1以上	6	A	
		支援ノウハウや支援状況の組織内での共有	—	0	D	
		WEB研修の積極的受講	—	2	A	
	10. 事業の 評価及び見 直しをする ための仕組 みに関する こと	毎年度、本計画に記載する事業の実施状況及び成果についての評価・検証・計画の見直し	年1回	1	A	C 平均 75%
		結果の理事会承認、総代会報告	理事会・ 総代会	総代会のみ	C	
		結果のHP公表	HP公表	HP公表	A	
		中小企業診断士との計画修正、委員会での年度更新	—	協議のみ	C	

## 【評価委員による評価・意見など】

最近コロナで物産展等に参加が出来ていない状況にあるが、参加する方が減っているのも現実にあるものの、多くの方になるべく興味を持って出てもらう事が大事であると思うし、参加したらしたで今のニーズに合った商品とか世間の求めていることが分かると思うので、物産展等へ多くの参加者の方がいたら良いと思う。難しいところはあるが、これから色々な商品を作っても作らなくても、多くの方が色々な所へ出て行った方が良い。

経営分析と計画策定支援については数があって、現実に事業をされている方について支援・分析することは大変重要であるが、これからは創業支援や事業承継も大変重要である。自分の会社についても事業承継についてはどうやっていくかを具体的に考えて行かなければならない時期に来ており、新たな創業や第二創業は難しく目標件数も難しいことは分からないわけではないが、事業承継に関しては、色々な企業に相談したら実際に困っている所もあると思うので、出来るだけ幅を広げて実施をして頂きたい。事業の評価をこれまでしていなかったようだが昨年度は評価を実施したということで非常に評価できるものである。

全体の実施としてコロナの影響で出来ない部分も一部はあっただろうが、出来る範囲の所に取り組み、昨年度と比べると実施率は上がって成果が上がっていると思われる。補助金の申請支援が中心とはなってもその後のフォロー体制にも取り組み、非常に良かった感じを受けました。今後はまたコロナが明けて特需も終わると思われるので、需要開拓や販路開拓に結び付き取り組みにも積極的に支援して頂いたらと思う。先ほど出た事業承継の話だが、会員のアンケートの中では後継者が決まっていない事業者の中で2割が譲りたい希望があり、潜在的なニーズがあるもののど

ここに相談したら良いかが分からないのではないかと思います。事業承継は機微な情報であるのでどのように拾っていくかを検討して行かなければならない。

経営分析や計画に関して事業者からの申出で支援が出来てきていると思うが、後1年のこの計画の中で新しい事業者が活用してくれたらと思う。補助金を活用したいとの声を聞くことも少なくないので、出来るだけ広く支援をして行ってもらえたら良い。あとコロナが明けてきたので、出展事業や色々な所へ行って体験して広げて行くのも良く、フォローアップについては良く出来ていると思う。

補助金についての周知が全然知らないことばかりだったので、その点をもう少しやって欲しいと思った。

物産展への出展がコロナの関係で下火になったことに併せて、町としては特産品をふるさと納税に活用することを主眼に取り組みを進めてきたが、まだまだこの制度が浸透していない課題もあるが、考えようによっては自分で値付けも出来るし小ロットでの出品や自分のタイミングで出品も出来るので、今後商工会と連携し、半分は町の財源としても入ってくるので、是非このチャンネルを使った加工品の販売に力を入れて行きたい。この2年コロナで後ろ向きになってしまい積極的な事業取り組みが出来なかったが、商工会とは情報交換をしながら十分だとは言えないがそれなりに取り組みさせて頂いた。これらが事業評価のどの部分に当たるか分からないが、事業承継や企業支援は町の単独事業でも実施しているものもあるので、事前の情報交換ができるようマメに連絡が取れたらと思っている。

町の第3セクターがこれだけお世話になっていたのかと改めて認識させられた。町の担当課として経営分析を受けてその内容報告を受けていないので、その辺りも町の反省点ではあるが、もう少しコミュニケーションを図って一緒に支援検討をして行きたいので、商工会さんからもこういった支援にこれから入るといった情報を頂けたらありがたいので連絡をお願いしたい。もちろんこちらからも各セクターには声をかけておく。そして先程から何件も話が出ているが、このコロナ禍の中で外販外商の力が弱まっていたが、今日から町長以下がトップセールスで大分県のトキハ百貨店の方へ7泊8日で中予圏域5市町の物産フェアに行くようになり、これからいよいよこういった取り組みにも観光協会と連携して復活をさせて行くようになる。この5年を見ると産品開発や外へ向けての物を売るという力が弱まったのと、道の駅辺りも来たお客さんを待つ形となっており、外商先が大きく縮小して弱体化した。モノを作るノウハウも失われた感もあるし、ご支援を受けてモノを売って行くところで商工会の力を借り、3者が連携してコロナ前の数字に戻していけたら。

全体的に経営指導員の方は努力されていると思う。商工会の会員さんの方から見ると、会員さんが節目節目で経営分析してもらって、経営把握をしたうえで補助金が必要ななら補助金を当てる方策をしてもらう要望があると思うので、もっと色々なところから補助金を取れば良いかなと、取れる補助金は確実に取って活用して頂きたい気持ちがあります。最近では色々アプローチするが、小規模で家族労働的な特産品を開発して販売する方があちこちで見受けられるようになっているので、この方々に対する支援を商工会で出来ないものかを考えて頂きたい。